



# 南小だより



柳井市立柳井南小学校

令和8年3月号

文責:吉中 孝志

◇学校教育目標:「やさしく かしこく たくましく ふるさとを愛する 南っ子の育成」

## ◆第2回学校評価アンケートを受けて

学校評価アンケート(12月実施)にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果の概要をお知らせいたします。

\*数値は、各設問に対する4段階評価(4:できている 3:どちらかというできている 2:あまりできていない 1:できていない)の平均値です。また、良好だと思える項目(3.50以上)をピンクで、課題と思える項目(3.10以下)をブルーで示しています。また、数値横の記号は前回比(▲:0.3p以上 up、△:0.1~0.29up、-:±0.1未滿、▽:0.1~0.29down、▼:0.3p以上 down)を表しています。

項目	設問	児童	保護者	教職員
1	友達・家族・地域の人などへのあいさつをしている	3.83 △	3.56 △	3.11 △
2	時と場に応じたよい言葉遣いできている	3.51 -	3.28 △	3.00 ▽
3	友達と仲良く過ごしている	3.83 -	3.68 △	3.67 ▽
4	夢や将来の目標をもって生活している	3.54 -	3.09 ▽	3.11 -
5	授業での学習内容が理解できている	3.69 -	3.22 -	3.00 -
6	家庭学習の習慣が身に付いている	3.57 △	3.03 △	3.50 △
7	良い姿勢で学習している	2.97 -	2.75 -	3.00 △
8	進んでいろいろな本を読んでいる	3.29 -	2.78 -	3.33 △
9	楽しく学校生活を送っている	4.00 △	3.74 -	3.78 -
10	困ったときに家族や友達・先生に相談することができている	3.86 △	3.63 △	3.56 ▲
11	早寝・早起き・朝ご飯の基本的生活習慣が身に付いている	3.57 △	3.25 △	3.56 ▲
12	外で元気よく運動したり遊んだりしている	3.77 △	3.19 -	3.67 ▲
13	約束やルールを守ってスマホ・タブレットを使用している	3.34 -	2.97 △	3.25 -
14	地域の方との勉強・活動を楽しんでいる	3.54 △	3.37 -	3.44 -
15	地域行事へ積極的に参加している	3.46 -	2.94 -	3.67 △

何よりも児童の肯定回答が多かったこと。特に「9. 楽しく学校生活を送っている」や「3. 友達と仲良く過ごしている」「10. 困ったときに相談する相手がいる」という項目で高い結果となっていることは学校として大変嬉しく思います。

一方で、三者共通してポイントが低かった項目である「7. よい姿勢」や「8. 読書の習慣」については、本校の継続的な課題となっており、学校運営協議会でも議論にあがりました。「8. 読書の習慣」については、今後も委員会、学校司書、読み聞かせ等を中心として、様々な立場から読書を促す取組を続け、効果につなげていきたいと思ひます。

「13. メディアの約束」については、柳井中学校区の1中8小で連携しながら、様々な取組を行っており、少しずつではありますが、評価も上がってきています。今後も重点をおいて指導していきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、ご協力をお願いいたします。

「15. 地域行事への参加」について、保護者の評価が少し低くなっています。地域行事への参加は、家庭の事情や習い事等の関係もあり、個人差はあるものの、阿月、伊保庄相互の交流も多くみられ、柳井南小学校地区の児童・保護者・地域とのつながりが強くなっていると実感しています。このつながりがより深まっていくことを期待しています。

いただいたご意見をもとに、これからも「やさしく かしこく たくましく ふるさとを愛する 南っ子の育成」をめざしてまいります。今後とも、ご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。

## ◆保護者・地域と共に考える～校長のつぶやきVI～

今回のテーマは『効果的な学習法はあるのか?』です。この問題提起をすると、恐らく、以下の二つの思考を働かせる人がいるかと思えます。一つは、「あるのか?」と聞かれているから、逆説的に「無い」と予想するパターン。もう一つは「効果的」を「効率的(できるだけ楽に)」と解釈するパターンです。実際私が講演を聞いたときに感じた印象です。結論は、「効果的な学習法は存在する」が「効率的な(楽をしてできる)学習は存在しない」です。

下に2通りの学習法がありますが、皆さんはどちらが効果的だと思いますか?

④見直し復習法...文章やポイントに目を通したり、読んだり、書き写したりする学習法

⑤確認テスト法...穴埋めテストなどを用いて確認する学習法

記憶の保持に関しては、⑤「確認テスト法」が効果大。よって、ノートに写したりするより、問題をたくさん解くことの方が効果が大きいと言えます。感覚的に④の方が覚えやすいと感じる人もいますが、再読は、記憶の保持にはあまり役に立たないと言われています。なぜなら、「記憶は長持ちしないから」「時間がかかる(勉強した気分になる)から」そして、「読み慣れることで、今わかることはいつでも思い出せると勘違いする(流暢性の錯覚)から」だそうです。

実際の自分の感覚のみを信じて効果的ではない学習法を進めてはいないでしょうか(私も自身の学習法を振り返る機会になりました)。皆さんも是非参考にしてみてください。

因みに、「画家の絵と作者を記憶する学習」において、下の二つのうちどちらが効果的な学習法だと思いますか。

⑥ブロック学習:画家ごとにまとめて学習

⑦交互学習:画家をシャッフルして学習



④ 見直し復習	⑤ 確認テスト
adahama = 名誉	adahama = ?
farasi = 馬	farasi = ?
sumu = 毒	sumu = ?
jumbo = こんには	jumbo = ?
simba = ライオン	simba = ?
rafiki = 友達	rafiki = ?
maji = 水	maji = ?
barabra = 道路	barabra = ?
kondo = 羊	kondo = ?
yuko = あたな	yuko = ?

◆答え:主観的には「ブロック学習」の方が良く学べたと感じるようですが、「交互学習」の方が効果的だそうです(私も予想外でした)。



## ◆美味しい「もち」が出来ました!

2月20日(金)、伊保庄もちつき唄保存会の皆様に来校いただき、もちつき集会を開催しました。この日は平郡東小学校児童・教職員も参加し交流しました。保護者有志にもお手伝いいただき、紅白のお祝いもちを作って家庭へ持って帰りました。多くの皆様のおかげで、このような貴重な時間が過ごせる南っ子は幸せだと感じました。前日・当日と準備をしていた保存会の皆様、粃蒔きから稲刈りに至るまで年間を通じて米作りに携わっていただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。



もちつき唄を唄いながら、もちつきを体験しました。

## ◆6年生を送る会

2月27日(金)に6年生を送る会を開催しました。「6年生と思い出をつくりたい会」では、5年生の企画したウォークラリーや風船バレーで盛り上がりました。「6年生に感謝の気持ちを伝えたい会」では、在校生からの感謝の気持ちが込められた歌やダンス、記念品が贈られました。

お昼は、縦割り班でお弁当を食べ、教職員 VS 児童との「校内大かくれんぼ大会」が開かれ、見事児童が勝利しました。

3月13日(金)の卒業式が感動的なものになることを予想させる、とっても温かい行事となりました。



送る会を終えて、6年生との最後の全体記念撮影

\*白黒印刷(予算)の関係で写真や資料等が見つらく申し訳ありません。学校ホームページには、学校だよりをカラーで掲載しています。そちらでご確認いただければ幸いです。